



## 区政レポート新年号

杉並区議会議員  
杉並わくわく会議代表

# 松尾 ゆり

2008. 1. 1. 発行

連絡先：

杉並区下井草 1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ：

<http://www.suginami-waku2.net/>

新年おめでとうございます。

昨年は統一地方選挙、参議院選挙と選挙の年でした。私も皆さんのご支援をいただき、区議会に初当選させていただきました。



**謹賀新年**

国政は参議院選挙で自民党・公明党の惨敗、安倍首相の辞任、福田首相誕生、そして「大連立」騒動と揺れ動きました。

とりわけ、11月の福田・小沢党首会談で明らかにされた「**大連立**」構想は、「政権交代可能な二大政党」などといっても、結局自民党と民主党という2つの政党が、基本政策で**ほとんど変わらない**ということを自己暴露してしまったものでした。

安倍首相のあとを受けて「癒し系」とも言われた福田首相ですが、医療費負担の凍結や、地方への税配分など行っているものの、あくまで**総選挙対策**。総選挙が終われば、**消費税増税**や**医療費の大幅削減**など待たなしです。

「二大政党」では生きられない！新しい政治を地域から模索していきます。今年もよろしくお願いします。

## 今年の杉並区政 ↓ここに要注意！！

**ごみ有料化** いま杉並区の「一般廃棄物処理基本計画」改定案への区民意見募集が行われています（1月20日まで）。いろいろな問題を含んでいますが、一番大きいのは「**家庭ごみの有料化**」を2010年までに実施する計画です。実施すれば23区では初めて。

区の行ったアンケートでも約6割の人が有料化に反対です。「ごみ収集は役所の仕事。税金を払っているのに**二重取り**」との意見も書かれています。

一方、有料化はごみ減量に有効だというのが区の言

い分。でも区の資料の中ですら、有料化の結果「ごみ減った」・「横ばい」の自治体=47%、「増えた」自治体=36%と、必ずしも効果的とばかりはいえない結果が掲載されています。環境のために、などといっても所詮は**区民に負担転嫁**して区の負担を軽くしようというもの。これだけ、生活が厳しいときに、さらに負担を増やすという区のやり方は間違っています。



**和田中が夜間塾** 区立和田中学校が、来年1月から大手進学塾サピックスに学校を貸して授業をやってもらうことを発表しました。

現在の和田中の2年生のうち15~30人の生徒を試験で選抜し、**都立進学重点校**（西、戸山高など）や私立の上位校をめざすそうです。授業料はサピックスの通常の授業料の半額。

報道直後に開かれた**教育委員会**では、教育委員からも「こんな重大なことを教育委員が是非の議論をせず報告だけきいて了承とするわけにはいかない」と激しい批判の意見が出ました。

教育委員会だけではありません。新聞掲載のわずか5日前に開かれた**区議会文教委員会**には一言の報告もありませんでした。議会も教育委員会も全く無視した**無法なやりかた**です。

**民間人校長**として、公立中を逸脱したやりかたも許されてきた藤原氏でしたが、学校が塾に明け渡されるこの事態はあまりにも行きすぎています。

藤原氏は授業料半額ということについてTVで「そりゃ、募集手数料とか場所代がかかりませんか」とあたりまえのように答えていましたが、つまりは**区民が税金で負担**しているということ。しかも、学校の教員も教材作りなどに協力、参加生徒の保護者は強制的に運営ボランティアとして送迎などセキュリティ面の協力を行うことになっているので、塾側はこれらの**経費を節約**することができます。

11月議会で、**松尾ゆり**は雑誌「**エコリ**」の問題をとりあげました。「**エコリ**」は**サンケイリビング社**が発行する教育をテーマにした**フリーペーパー**で、小学校を通じて家庭に配られています。和田中の塾の問題も同じですが、杉並の学校は特定の**企業の下請け機関**ではありません。私たち区民は納税者として、これらを認めず、やめさなくてはならないと思います。

### 講演会「どうなる！？ 日本の医療」

鈴木 厚氏（川崎市立井田病院地域医療部長）

日時：2008年1月27日（日） 1：30～

場所：杉並区産業商工会館 1F 展示室

（JR阿佐ヶ谷南口徒歩5分）

主催：福祉フォーラムすぎなみ 後援：杉並区

**小児科、産科が足りない！ 医師不足！ 病院たらいまわし！ と不安がいっぱい。いったい日本の医療はどうなってしまうの！？ と思っているあなた！ 来年のことですが、ご予約ください！**

～11月議会から～

## ①高齢者福祉充実のために区ができること

(松尾ゆりの一般質問から)

一般質問のうち、高齢者福祉の問題で、**松尾ゆり**は「介護保険制度の制度改正で、多くの方が介護サービスを削られて困っている。区は**独自の努力**でカバーすべきでは」と提言しました。たとえば、**渋谷区**では、**要支援2**になってしまい、ホームヘルプの**時間が足りない人**へのために

○同居家族がいるという理由でホームヘルプが**支給されない人**へのために

○**通院・外出**の介助が必要な人のために

○本人以外の同居の高齢者のための**食事準備や清掃**に

と、それぞれヘルプサービスを独自に用意し、困っている人の一人一人に  
応える、**きめこまかいサービス**を考えていま

す。杉並区ももっと、区民に密着したサービスを考える必要があります。

さらに、**地域包括支援センター(ケア24)**への支援強化と区独自の介護専門学校の設置を求めました。

(このほか、レジ袋有料化条例、学校統廃合、雑誌『エコリ』配布について質問しました。)

## ②小中学校適正配置(統廃合)再検討へ

11月議会では「全員協議会」という(めったに開かれない)ものが開かれ、教育委員会は小中学校適正配置の「再編構想」について「新しい人口予測のデータをふまえて**再精査**する」という考えを発表しました。

つまり、思っていたよりも**子どもが減らない**(横ばいしないし微増)ことがわかり、統廃合する**学校数や地域**をもう一度検討し直すということです。問題の神明中・宮前中の統廃合案も、先延ばしになった形です。

東京都はこのところ**人口が増加**に転じており、23区の中でも、**学校統廃合を見直す動き**が出てきています。

この際、杉並区の学校として望ましい学級や学校の規模はどれくらいなのか、そして、現在の学校を本当に減らさなければならないのかについて、もう一度区民全体で、**根本的に議論**をしてみる必要があります。

## ③住基ネット訴訟二審で区が敗訴

11月29日東京高裁で杉並区の「住基ネット訴訟」の

判決が出ました。結果は一審と同じく区の敗訴。区は議会での報告の際、上告に賛同する議員が一人としていなかったにもかかわらず、最高裁に上告しました。

そもそも杉並区の住基ネットに対する態度はすごくネジれていて、わかりにくいのですが、

○まず、住基ネット発足前には山田区長が「住基ネットはプライバシーの問題があるから**離脱**」と宣言。(ここまではよかった。)

○2003年、2期目の当選を果たした区長は、途端に「横浜方式＝**選択制で接続**」(将来的には全員接続する)に**180度転換**。

○その後「非通知申し出」をした人以外はネットに**接続するよう都に要請**したが拒否され、提訴。

という経過をたどっているのです。今回の裁判も「離脱を認めさせるための裁判」と誤解している人が多いと思います。が、この裁判は「**接続を求める**」裁判です。「杉並区は頑張ったのに都が選択制を認めず、裁判所も認めてくれなかった。だから仕方ない」と**幕引き**するための**アリバイづくり**でしかありません。裁判で負けようが、区は**国立市**や**矢祭町**のように、毅然として「ネット接続はしない」と言うべきなのです。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

防衛省に申し入れました

—岩国市庁舎問題で地方議員の共同行動—

**米軍再編に反対**したために市庁舎への**補助金がストップ**されてしまった岩国市の問題で、12月12日、超党派の地方議員が「岩国の市庁舎に補助金交付を！」という要望書を防衛省に提出、**松尾ゆり**も参加しました。

緊急の行動でしたが、全国**361名**の地方議員が賛同した要望書をたずさえて、議員会館で防衛省の担当者とは話し合いをしました。多くの地域で議会開催中のため、参加した地方議員は主に東京の議員ですが、千葉、静岡、そして愛知からもかけつけて下さった方がおられました。

ある区議は岩国出身。「国からの補助金を前提に市庁舎建設を始めたのに、3年目では**しごをはずすのか**。岩国の人間はおとなしく、これまで国策に忠実に協力してきた。今後もこういうことが起こるのではないかと**市民は不安**に思っている」と発言。岩国の地元衆参両院の議員もかけ

つけて活発に発言してくれました。

「こんなことがまかりとおるなら、自治体は予算もたてられない！」という地方議員の怒りの行動でした。



